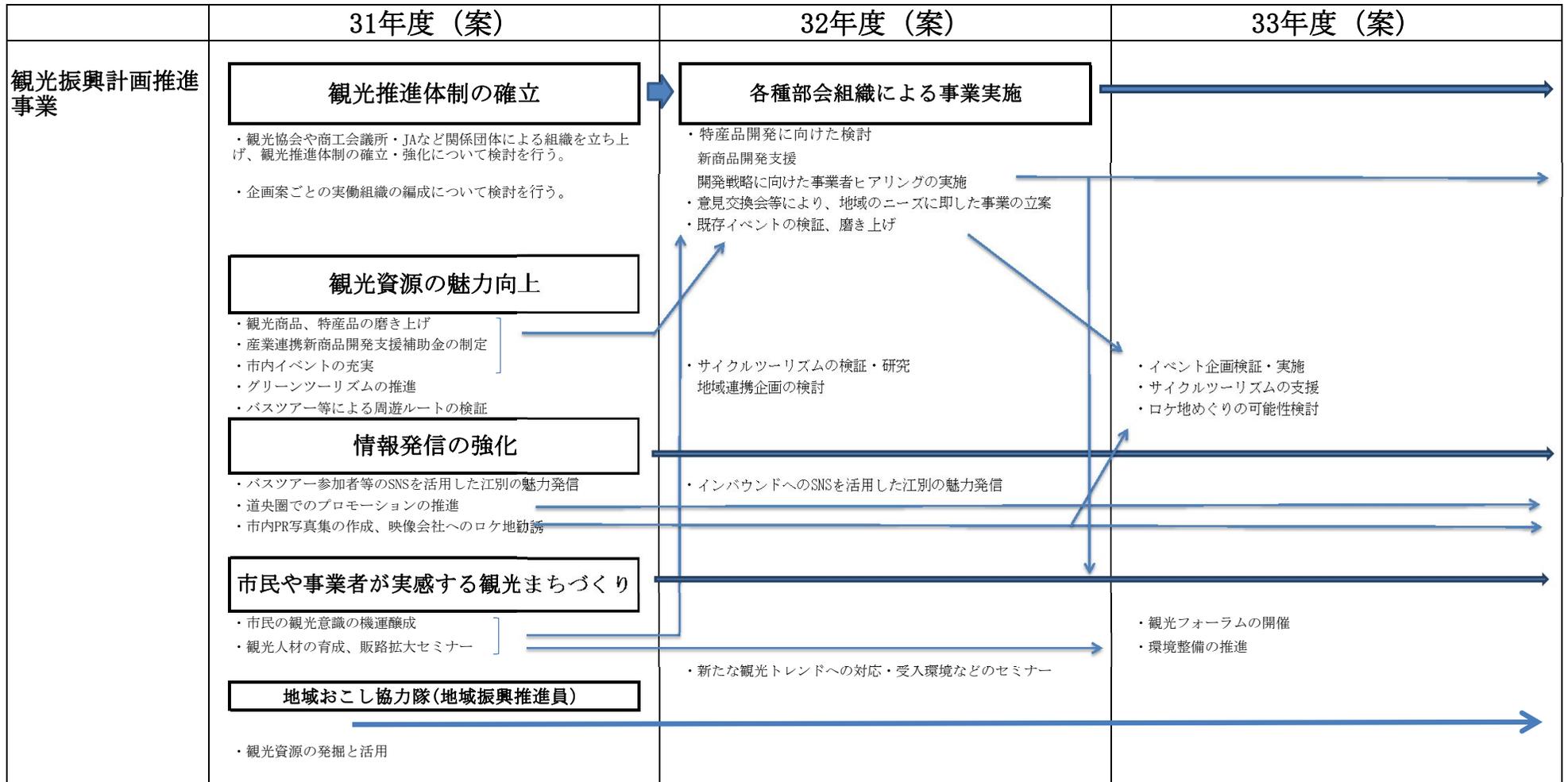


平成31年度地方創生推進交付金申請予定事業

※詳細は別紙のとおり

事業名	事業内容(予定)	申請予定額(円)
江別観光振興計画推進事業 【後継事業:1年目】	<p>先行事業である『「食＝江別の魅力！！」地域資源を活かした江別産品販売促進プロジェクト』で、定した観光振興計画に基づき、道央圏からの誘客による交流人口の増加を図る。</p> <p>道央圏での観光プロモーションイベントの開催やPR写真集を作成し映像制作会社等への情報提供等で江別の魅力を発信する。さらに、観光人材育成・観光意識醸成のためのセミナーの開催や、観光推進体制について協議・検討する組織を立ち上げ、検討を実施する。</p>	9,660,000
有給インターンシップ等地域就職支援事業 【継続事業:3年目】	<p>3年目はこれまでに確立した、「市内企業による学生の受入れ、市内大学生のインターンシップ参加」のモデルを基に事業を拡大する。</p> <p>また、インターンシップ参加対象者に市内在住の市外大学へ通学する大学生も試行的に加えるなど、学生地域定着事業とも連携し、さらに参加者を増やしていく。</p>	12,075,000
ジモ×ガク(地元×学生) ～学生地域定着自治体連携プロジェクト 【継続事業:3年目】	<p>連携自治体や連携企業・団体、大学などと共に、負担金収入による事業の自立化を検討し、地域活動プログラムのPDCAサイクルにより、毎年度事業の見直しを行う。</p> <p>地域への就業学生数をさらに増加させるため、大学と地域企業情報の共有や学生企業説明会の開催を積極的に行い、学生とともに各大学就職担当者による地域企業の理解も図る。</p>	2,914,000
生涯活躍のまち推進事業 【新規事業】	<p>市民が市外に転出することなく生涯にわたって安心して暮らし続けられるよう、アクティブシニアや若年層、障がい者など多様な主体が就業、ボランティア等に携わることで「共生のまち」の実現を目指す。1年目は平成29年に策定した江別版「生涯活躍のまち」構想を踏まえ、地域再生協議会を立ち上げ、構想の実現に向けた生涯活躍のまち形成事業計画の策定及び下地づくりを実施する。</p>	3,977,000
(仮称)移住支援事業 【新規事業】	<p>東京圏からのUIJターンの促進及び地方の担い手不足対策解消のため、平成31年度から国の地方創生の新たな取り組みとして、東京23区等からの移住者を対象に、就業では最大100万円、起業では最大300万円を支給する。</p>	検討中

江別観光振興計画推進事業（3ケ年計画）



有給インターンシップ等地域就職支援事業 概要

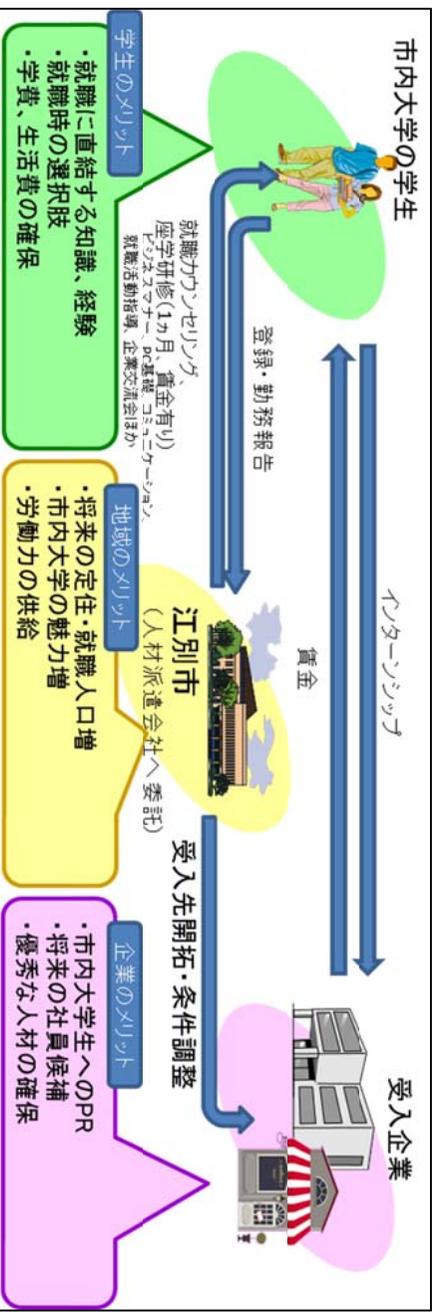
1 目的

- ①市内 4 大学の学生（※1）に対するキャリア形成
- ②市内企業における労働力確保及び将来の人材育成

2 事業のつくり

登録した学生に受託事業者が「就業前研修」を実施したうえで、人材派遣契約に基づき市内企業に学生を派遣する。その他、キャリア形成を促すために、定期的に就活等に活かすことができる内容の研修や交流会などを実施している。

＜事業図＞



3 派遣実績

平成 28 年度 派遣実績

延 1, 166 人日 年度末登録者数 69 人 インターンシップ参加人数 45 名

平成 29 年度 派遣実績

延 1, 713 人日 年度末登録者数 93 人 インターンシップ参加人数 46 名

4 登録企業数

計 42 社 ※平成 30 年 10 月現在（平成 28 年度 計 28 社）

職種：①飲食 ②軽作業・製造 ③事務 ④清掃 ⑤レジ・品出し ⑥農業関係

⑦建設関係 ほか

5 拠点施設の活用（アルバシツプえべつ）

基礎・応用研修（マナー・連絡の仕方など）、業界研究、登録学生交流会、江別市職員・市内企業交流会、その他、学生のニーズに合わせて随時ワークショップを実施。

6 その他

学生地域定着自治体連携事業（通称ジモガク）と連携し、両事業に登録している学生向けに、平成 29 年度に市内企業見学バスツアーを実施。平成 30 年度も実施予定。

H31年

【広域連携】
学生地域定着推進広域連携協議会
学生×地域活動マッチング

実績	H29	H31 (目標)
登録学生数	466名	650名
延べ活動学生数	778名	800名
実施プログラム数	77	65
地域定着数	5名	7名

H29年度卒業生 地域就業ケース
江別市→4名 (地域企業、行政)
長沼町→1名 (行政)

赤平市 (人口 11,105人)

- ・企業インターンシップ
- ・小中学生学習支援ボランティア
- ・あかびら祭り運営

芦別市 (人口 14,676人)

- ・企業インターンシップ
- ・観光施策検証のワークショップ
- ・ベースボールサマーキャンプ運営

赤平市

芦別市

三笠市

三笠市 (人口 9,076人)

- ・北海盆踊り
- ・市役所インターンシップ

南幌町 (人口 7,927人)

- ・農業等各種イベント運営
- ・自然体験学習支援
- ・小学生学習支援 等

江別市

栗山町

栗山町 (人口 12,344人)

- ・子育て支援ボランティア
- ・各種地域イベント運営ボランティア 等

南幌町

由仁町

由仁町 (人口 5,314人)

- ・全町対抗ソフトボール大会
- ・小学生冬休み学習補助
- ・夏祭り運営 等

長沼町

長沼町 (人口 11,076人)

- ・被災地児童交流事業
- ・冬休み児童交流事業
- ・地域企業との働き方ワークショップ 等

江別市 (人口 120,636人)

- ・企業・行政インターンシップ
- ・地域企業訪問バスツアー
- ・地域イベント (各種夏冬祭り等) 運営
- ・地域ワークショップ
- ・地域アート制作 等

酪農学園大学 (学生数 3,711人)

- 酪農・獣医・農業・食品・環境分野 等

北翔大学・短期大学部 (学生数 1,796人)

- 健康・スポーツ・芸術分野 等

札幌学院大学 (学生数 2,352人)

- 総合文系 (法律・地域社会・人文 等)

北海道情報大学 (学生数 1,542人)

- 情報関連 (ICT・web・先端経営 等)

- 食の臨床試験・健康情報 等

江別市内4大学

(学生数 合計 9,722人) ※H29

移住支援事業（概要）

目的	東京圏※1からのUJターン促進及び地方の担い手不足対策
支援対象者	以下の①から③の全ての要件を満たす者 ① 23区在住者又は23区への通勤者※2 ② 東京圏※1以外の道府県に移住した者※3 ③ 移住地で中小企業等※4に就業又は起業した者 ※東京圏のみの初住就業
事業主体	地方公共団体
支援内容	移住に要する費用など
支給金額	中小企業等※4に就業した場合 最大100万円 (国 50万円、都道府県 25万円、市町村25万円) 起業した場合 最大300万円 (上記に加え、国 100万円、都道府県 100万円)



- ※1 東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県。
- ※2 東京圏在住の23区への通勤者のうち、条件不利地域※6在住者を除く。
- ※3 東京圏の条件不利地域※6に移住した者を含む。
- ※4 地方公共団体がマッチング支援の対象※5とした中小企業等に限る。
- ※5 過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法及び小笠原諸島振興開発特別措置法において規定される条件不利地域を有する市町村（政令指定都市を除く）。
- ※6 都道府県による移住希望者等と中小企業等のマッチングを支援する仕組みの構築を別途支援。

